日本語あれこれ

私たちは，日常生活のなかで，あんがい無雑作に日本語をもちいている。しかし，ちょっと注意してみれば，日本語にはすばらしい故事・諺・成句が限りなくあることに気づく。これらは，庶民の知恵なり生活の哲学なりが，短い語句のなかに圧縮されたものである。以下，例題をいくつか出してみました。［　］欄に適当な語句を入れてください。あなたの日本語の常識がどのくらいか，自己点検してみるのもいいでしょう。なお，資料として池田弥三郎著『日本故事物語』を参照した。

※　時機を逸すると効のたとえに「あとの祭」がある。

六日の［1］，十日の［2］
あとの［3］先にはたたず

※　「一富士二鷹三茄子」のように，一，二，三と続ける成句がある。

一姫二［4］
一［5］二丸顔
一押二［6］三男

※　「すももも桃も桃の類」のように，同じ発音が繰りかえし使われる文句がある。

うりうりがうりうりにきてうりのこし
うりうりかえるうりうりのこえ

この文句には，「瓜」が［7］回，「売り」が［8］回，使われている。

※　「言わぬが花」のように，だまっていれば災が及ばないという意味の諺がある。

［9］も鳴かずば撃たれまい
出る［10］は打たれる
さわらぬ［11］にたたりなし

※　「四季」「四天王」のように，四にちなんだ語句がある。

四書：大学，中庸，［12］，孟子
四芸：琴，［13］，書，画
四苦：［14］，老，病，死

※　「馬の耳に念仏」のように，貴重なものでも人によっては何の役にもたたないという意味の諺がある。

［15］に小判
［16］に真珠
［17］に論語

※　「知らぬ顔の半兵衛」のように，擬人名になっている語句がある。

［18］の平左衛門
やけの［19］
石部［20］

※　「あするすばんにこい」は，「明日留守。晩に来い」とも「明日，留守番に来い」とも読める。同様に，

しんだいしゃてはいたのむ

これは，［21］とも［22］とも読める。

※　「梅に鶯」のように，ふさわしい取り合わせという意味の成句がある。

［23］に唐獅子
竹に［24］
紅葉に［25］

※　最後に難問(?)を。「雲風」という隠語は，出雲(いづも)の「モ」，東風(とち)の「チ」を使って，「餅」を意味している。同様に，

木頭切月中破の意味は［26］
千千千千千千千千千の意味は［27］
田中十内の意味は［28］
横井伝七の意味は［29］

答　［1］菖蒲　［2］菊　［3］後悔　［4］太郎　［5］瓜実　［6］金　［7］3　［8］6　［9］雉　［10］杭　［11］神　［12］論語　［13］碁　［14］生　［15］猫　［16］豚　［17］犬　［18］平気　［19］やん八　［20］金吉　［21］寝台車手配たのむ。［22］死んだ。医者手配たのむ。［23］牡丹　［24］虎　［25］鹿　［26］不用　［27］泉岳寺　［28］口　［29］匕

（斉藤政己）